

クリニックレター 2022年5月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

人間ドックは必要か・・・

今回は人間ドックについて、私の意見を書かせていただこうと思います。

日本で初めて人間ドックが行われたのは1954年(昭和29年)で、当時の国立東京第一病院(現在の国立医療センター)で「短期入院総合精密身体検査」という名の6日間の総合的な検査と診察が行われたのが最初と言われています。その後、1958年に聖路加病院で1泊2日の短期ドックが考案され、この形式が現在の人間ドックのもとになったようです。その後、病気の早期発見と治療が社会にとって有用であるという認識から、企業や協会健保などが人間ドックに補助金を出すようになり、また、人々の健康意識の高まりとともに、人間ドックをおこなう施設は日本中に広がりました。今では、総合病院はもちろん、人間ドック専門の医療機関や、有名ホテルなどと契約した検査機関など様々な形態があり、また、比較的シンプルなメニューのものから、ありとあらゆる検査を組み込んだものまでと、その内容も非常に多様化しているようです。では、人間ドックの目的とはどのようなもののでしょうか。

目的の第一は、高血圧症や糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の発見かと思えます。これらの生活習慣病に気がつくことなく放置すると、早期に(場合によっては50歳台で)脳卒中や心筋梗塞、腎不全などを引き起こすことがあります。しかし、最近では、職場健診や住民健診が普及していますので、人間ドックで初めて生活習慣病を指摘されることは珍しいかもしれません。

もう一つ大事な目的は、癌の早期発見です。癌と言っても様々なものがありますが、大まかに臓器別に説明しますと、

A) 肺：肺がんを早期に見つけるには、胸部レントゲン撮影では限界があるため、CT検査が最も有効です。ただし、CT検査は被爆量が多いため、頻回に行えばよいとは単純には言い切れないところがあります。

B) 胃・食道：胃がんの原因はピロリ菌の感染によるものですので、ピロリ菌に感染している、または過去に感染して除菌治療を受けた方は、定期的に胃カメラを受けることが必要です。逆に、ピロリ菌に感染していない方は、胃がんにはまずなりません。しかし、喫煙者や飲酒量の多い方は食道がんのリスクもありますので、ピロリ菌に感染していない方でも、定期的な胃カメラは受けられた方がよいかと思えます。

C) 膵臓：膵臓がんは発見が難しい癌の一つですが、特に50歳台以降の方は、定期的な血液検査と腫瘍マーカー検査をおこなうことで、早期発見が可能です。

D) 大腸：大腸に関しては、便潜血検査がポピュラーですが、上行結腸のポリープなどでは偽陰性になることも多いため、これも、50歳台で座業が多い方や(裏へ続く)

喫煙者、飲酒の習慣のある方は、大腸内視鏡検査を定期的に受けられることをお勧めします。

E) 肝臓：肝臓がんはほとんどの場合、B型またはC型肝炎ウイルスに感染している方に発生します。現在は、ウイルスの早期発見と治療が確立していますので、人間ドックで初めて肝臓がんが見つかることはまれではないかと思えます。

F) 前立腺：前立腺がんは、血液検査(PSA:前立腺特異抗体)で早期発見が可能な癌ですが、健康保険でも年1回の検査が認められています。

その他、乳がん、子宮がん、卵巣がんなどについては、若年者の方も専門医で定期的な健診を受けられることをお勧めします。また、各種腫瘍マーカーに関しては、前立腺がん以外で早期発見の手助けになることは少ないため、他の検査と併用することが必要です。最近では、PET検査を売り物にする人間ドックも多いようですが、癌の早期発見、という意味合いでは、その有用性は疑問です。

癌以外の疾患に関しては、くも膜下出血の原因である脳動脈瘤の発見のための脳MRI・MRA検査が有用です。特に、肉親にくも膜下出血の方がおられる場合は、定期的なMRI検査を受けられることをお勧めします。

西本が人間ドックを受けない理由

実を言うと、40歳台の初め頃に2回程某病院の人間ドックを受診して以来、私は人間ドックを受診していません。一番の理由は、その人間ドックで受けた胃カメラがあまりにしんどかった(医師の技量の問題!)で、以後、胃カメラ、大腸カメラに関しては、信頼できる検査専門の医療機関を定期的に受診しており、必要な血液検査も定期的におこなうようにしています。また、私の妻にも、人間ドックではなく、消化器や乳がん・婦人科健診の専門医療機関を受診してもらっています。

人間ドックをお勧めしたい方とは？

しかし、「普段お忙しくてなかなかご自分の健康に気を遣う時間がとれない方や、医療機関にかかるのが苦手だけどそろそろご自分の健康状態が気になる、特に40歳台以降の方」に関しては、人間ドックを受けていただくことをお勧めしたいと思えます。ただ、あまりに過剰な検査項目などは、「とにかく安心したい!」という方には良いかと思えますが、どうしても必要か?というところを傾げずにはおれない、というのが正直なところです。

お知らせ：6月7日(火曜日)13:30~15:00、瓦木公民館において、一般の方を対象に、「西洋医学と東洋医学-漢方とは?-」というテーマでお話をさせていただきます。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。(西本)



お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及びクリニック周辺の道路には、駐車されないようにお願いします。駐車中のアイドリングもおやめください。駐車場に空きがない場合は周辺のコインパーキングをご利用ください。